

2020年4月6日

取手市 市長 藤井 信吾 様

日本共産党市議会議員 加 増 充子  
遠山 智恵子  
関 戸 勇  
小 池 悦子

### 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策についての要請書

新型コロナウイルス感染症拡大をめぐる状況が日々変化する中、取手市でも地域の拠点病院での院内感染と感染者発症があり、また連日の報道では東京都の感染者が増え続ける状況に、不安や心配の声が高まっています。取手市でも対策本部を立ち上げ、対応にご奮闘くださっていることと存じます。対応へのご尽力には心より敬意を表します。

今後、長期化する大変な事態の中で、市民のいのちとくらしを守る行政の役割も一層の対応策が求められていくことと存じます。

取手市は現段階では、国や県の方針を受け、それに伴い対応策を図る状況となっています。

学校の引き続く長期休校、医療への不安、地域経済の深刻化など、取手市として取手市民のための対応策を、丁寧に行うことが求められています。大元では国策でありますので、市民のために国に求めるべきはしっかりと求める自治体の役割を十分に発揮していただくことを強くお願いいたします。

特に、学校は5月6日までの長期休校が決まり、学校現場はもちろん、児童・生徒、保護者、保護者が働く企業・事業所など更なる混乱が予測されます。

取手市として市民のいのちと健康を守り、暮らしへの影響を最小限に食い止めるために、どう対応していくのか、市民から寄せられた切実な要望を踏まえて、現段階で私たちが考える対応策について以下の通り要請いたします。

#### 記

- 一 市民が「根拠のないうわさ」や「デマ」などに振り回されることなく、正しい判断に基づく行動がとれるように、情報を正しく、速やかに流すこと
- 二 JA とりで総合医療センターの休止に伴い、地域の医療機関受診への心配や不安についての声が多くありますので、市が相談や受診へのスムーズな対応を図れるように相談窓口を設置すること

- 三 マスクや消毒液の不足状況に対しては、医療機関・高齢者施設・介護施設・介護事業所・保育施設・障がい者施設の実態を調査して必要なマスク・消毒液を支給すること
- 四 商工会などと協力し、商工業への影響の実態と業者の要望を把握するとともに、中小業者に対する相談窓口を早急に設置すること
- 五 新型コロナウイルス感染症拡大により売上げが減少している中小企業向けに、無利子・無担保・無保証人の緊急融資を実施すること
- 六 農家の実態と要望を把握し、必要に応じて支援を実施すること
- 七 新型コロナウイルス感染症防止対策に伴う休校及び公共施設の休止などに関し、休業・休暇など、直営・委託・管理代行など事業者と、そこに働く正規もパート・臨時等非正規職員も含む収入減少の実態を把握し、補償を行うこと
- 八 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、休業を余儀なくされているフリーランス、個人事業主に対して、雇用調整助成金の特例と同様の補償を、国と県と連携して実施すること
- 九 新型コロナウイルス感染症防止対策には、自粛と補償を一体で行うことが必要であるが、現実として政府の対応は遅すぎる状況にあるため、国の政策財源待ちでなく、財政調整基金や国保基金の活用で、取手市としての速やかな対応を図ること